

◇ 研修の概要

1 研究主題

社会的事象に進んで関わり、社会的な見方や考え方を確かにしていく子供の育成

2 研究主題設定の趣旨

昨年度は、研究主題を「主体的に追究し、関わり合いながら、確かな学びをつくる子供の育成」とし、主体的に追究するための具体的で明確な学習課題の設定、子供同士で考えを練り上げ、立ち止まって考えるための関わり合い、変容の評価の工夫について研修を進めてきた。

そして、単元構想や学習課程など、確かな学びが実感できる授業づくりへの様々な支援を工夫することによって、主体的に学ぶ子供の姿が見られた。

本年度からは、富山県小学校教育研究会の社会科研究推進校の指定を受け、上記の研究主題を設定し、社会科を中心に学力向上に取り組んでいく。

「社会的事象に進んで関わり」とは、社会的事象と出会った子供が、生活経験や既習事項などをもとに、自分なりの社会的な見方や考え方で事象を捉え、疑問をもったり予想を立てたりしながら主体的に問題解決を図る姿である。

「社会的な見方や考え方を確かにしていく」とは、学習問題について思考・判断・表現することで、問題解決に向けて見通しをもったり、社会的事象の特色や意味、携わる人々の働きなどを、自分との関わりの中で考えたりする姿である。

このような子供たちの姿を目指して、社会的事象に進んで関わるための単元構想や学習課程を工夫したり、社会的な見方や考え方を広げ深めるための活動の在り方を探ったりすることで、子供が社会的事象について広い視野から総合的に理解していくようにしたい。

3 研究主題解明の視点及び内容

視点1 子供が社会的事象に進んで関わるための教材研究や単元構想の工夫

- ・学習内容を明確にする素材の教材化
- ・子供の思考の流れを生かした単元構想
- ・学習問題づくりの工夫

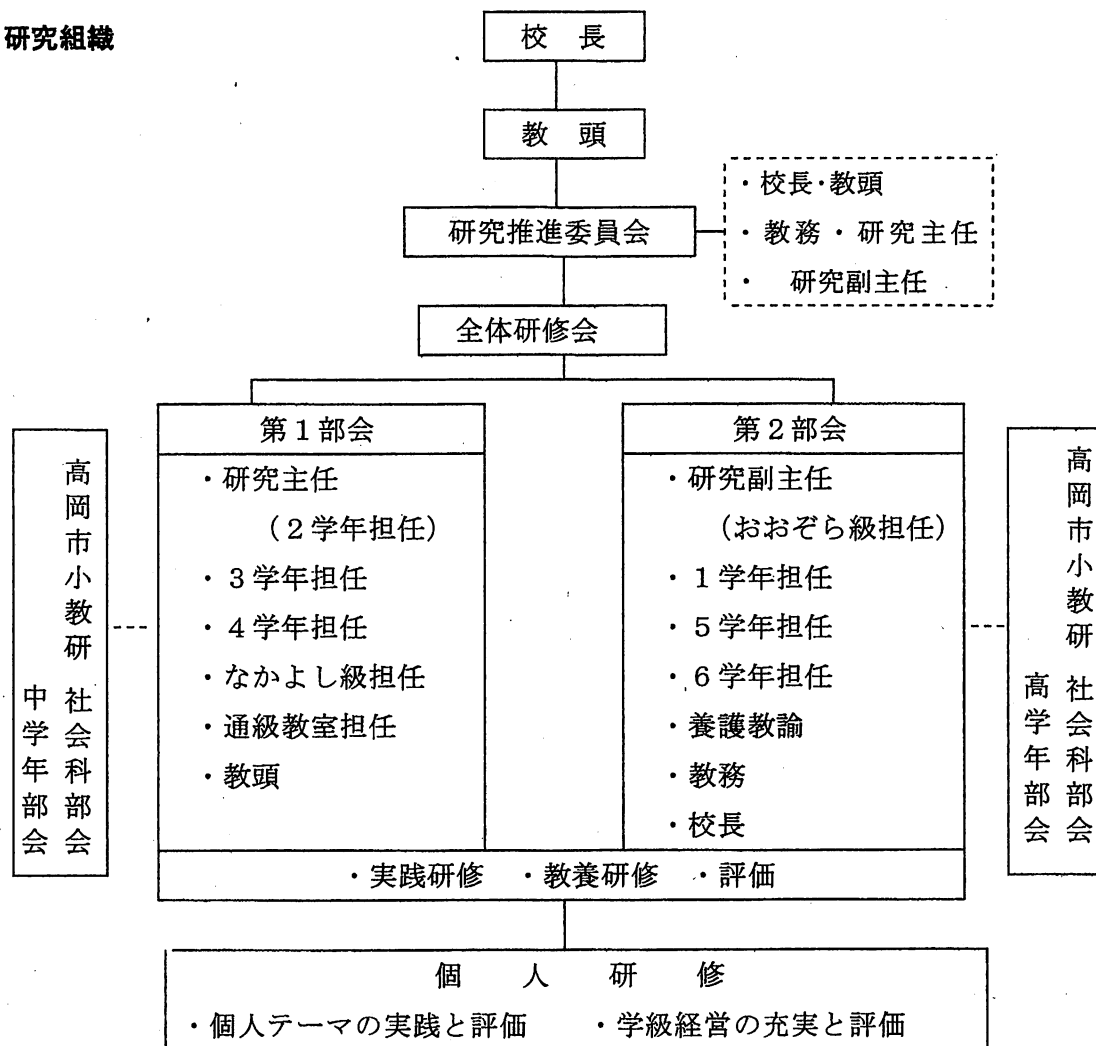
視点2 子供が社会的な見方や考え方を広げたり、深めたりするための活動の在り方

- ・単元の導入における工夫
- ・社会的事象における事実認識を深め、子供の社会的な見方や考え方を広げたり、深めたりする資料の活用
- ・考えの背景を話し合い、社会的な見方や考え方を広げたり、深めたりする活動の工夫

視点3 子供の社会的な見方や考え方を確かにするための学習評価と社会の形成に参画する基礎を養うための支援の在り方

- ・目標と指導と評価の一体化
- ・振り返りの場の設定や振り返りの指導
- ・社会の形成に参画する基礎を養うための教師の支援

4 研究組織



5 研究方法

- ① 研究推進委員を中心に、研修計画を企画・立案し、全体研修会で共通理解を図る。
- ② 3、4、5、6年担任は、学校訪問研修と県西部小学校教育課程研究会で授業研究を行う。その他の担任は、社会科に関わる学習活動の工夫や支援の在り方などについての情報提供を随時行う。
- ③ 地域の産業や文化・自然等の「人」「もの」「こと」に主体的にかかわる体験活動を学習活動に生かす。
- ④ 授業実践や互見授業の機会を設けて主題の具体化に取り組み、子供の姿を通して協議し、実践的な指導力を高める。
- ⑤ 教職員として資質や能力を高めるため、研修の日常化、継続化、累積化を図り、広い視野から豊かな人間性を培う。
- ⑥ 地域の「材」を知る研修や外部講師による研修などを取り入れる。
- ⑦ 研修主題の解明に向けて、実践した授業及び実践活動などの研修内容についての成果をまとめる。

